

『總持寺住山記』について

納 富 常 天

まえがき

『總持寺住山記』は通称で、正しくは外題にもあるように『總持禪寺開山以来住持之次第』（以下『住山記』と略記する）である。表紙は紺表紙、右上に冊番号を示す「住巻号」、左上に張り題簽「住山記」とあり、装丁は折本、大きさは多少の違いがあり、第一号は、 $31 \cdot 3 \times 16 \cdot 9$ cmであるが、たとえば第一三五号は $33 \cdot 7 \times 20 \cdot 5$ cmである。また開山から七十二世春谷葩和尚までは表紙裏に「住山比丘 宗葩謹誌」とあるように、春谷宗葩の筆であるが、七十三世英巖宗傑からは各自が署名したと思われ、すべて異筆である。従来一四一冊、四九七六六世大仙和尚までの輪住記録とされている。それは明治三年七月二十五日に輪住制度が廃止になるが、その当該部分のテンプ紙に「輪住制廃止 明治三年七月廿五日」とあるとともに、『住山記』第一三六号前表紙に「明治三年七月廿五日輪住制廃止となる 端世師世代は継続する 一三六号より一四一号まで」とあるからと思われる。しかし現在『住山記』として所蔵されているものは、そのご明治四十二年まで書きつがれ、全部で一四七冊にのぼると同時に、世代も五七五五六五世良光和尚まで記録されている。このようにあまりにも膨大なため、今日まで全部にわたっての活字化はもちろん、総括

的な調査研究も行われていない。

『住山記』はいうまでもなく、總持寺教団が飛躍的に発展した実態を示す基本的資料である。それは瑩山紹瑾（一二六八—一三二五）が定めた「永光寺尽未来際置文」⁽¹⁾による永光寺五老峰の輪番守塔制度にならい、峨山韶磧（一二七五—一三六五）が康安二年（一三六二）と貞治三年（一三六四）に定めた「惣持寺未来住持職事」⁽²⁾「惣持寺山門住持職事」⁽³⁾によるものといっても過言ではない。

「惣持寺未来住持職事」では(1)峨山の嗣法—法嗣のなかで器用の仁を住持にすべきこと、(2)末代までもこの旨を守り住持すべきことを指示している。また「惣持寺山門住持職事」では(1)嗣法の次第を守り五ヶ年住持すること、(2)若し山門が廃退した時は、法眷が集って評定すべきことを垂示している。これらの置文に基づき『禅学大辞典』によると、峨山の五哲である太源宗真（？—一三七二）・通幻寂霊（一三二二—一三九一）・無端祖環（？—一三八七）・大徹宗令（一三三三—一四〇八）・実峰良秀（一三一八—一四〇八）が観応二年（一三五二）にそれぞれ總持寺内に普蔵院・妙高庵・洞川庵・伝法庵・如意庵を造り、輪住の拠点とした。

しかしやがて門派の消長などもみられ、五院による輪番住持——とりわけ五ヶ年間の輪住——が困難になり、これを補うものとして、五院それぞれに輪番地寺院が成立することになる。この輪番地寺院は従来普蔵院関係一〇三カ寺、妙高庵関係八五カ寺、洞川庵関係五一カ寺、伝法庵関係四一カ寺、如意庵関係五一カ寺、合計三三一カ寺とされているが、これらは全国的に散在していたので、總持寺教団の飛躍的發展に直結するものであった。⁽⁴⁾しかしそれは同時に輪住者の増加、さらには輪住期間の短縮という現象も惹起し、峨山の定めた五ヶ年間輪住という原初形態は次第に崩壊し、時代の推移にしたがい新しい形態に変化発展している。

このように『住山記』は總持寺教団の成立發展の実態を研究する基本的な資料であるから、鶴見大学仏教文化研究

所ではその所蔵者である總持寺の御許可を得ると同時に、駒沢大学図書館に保管されている曹洞宗宗宝調査会作成にかかるマイクロフィルムにより写真本を作成した。しかし『住山記』第一号は料紙の関係からか墨ののりが悪く、随所になぞってあり、写真本では判読できない部分があるばかりか、随所にある落款も不鮮明であるから、所蔵者の了解を得て活字化することにした。なおこれを内容的にみた場合、一八三世通翁球和尚のつぎに「前任当山大瑞祐和尚」を掲げているが世代に数えていないこと、また一九一世はいかなる事情によるか和尚名を欠いていることなどが注目される。また永光寺には永享二年（一四三〇）五月、永光寺東堂竜護真化和尚の命により維那宗洞が書写した『能州諸嶽山總持禅寺住山之次第』⁽⁵⁾が所蔵されているが、これは三五五世承天和尚諱青順まで記録されている。『住山記』と比較した場合、記載事項に世代順⁽⁶⁾、受業師・入寺年月日・出身地の有無など異なる記載があり、『住山記』と相互に補完できる関係にあるので、所蔵者の御許可を得てあわせて活字化することにした。なお石川県立図書館史料編纂室室山孝氏から東京大学史料編纂所にある『總持禅寺住山記』は、昭和初期に謄写したもので、永光寺本と同じものであるとの御教示を得たことを付記しておきたい。

注

(1)能州酒井保洞谷山者、酒勾八郎頼親嫡女平氏女□□□□清浄寄進之浄処故、紹瑾為一生偃息之安楽地、来際為瑩山遺身安置之塔頭所、是以自身嗣書・先師嗣書・師翁血経・曾祖靈骨・高祖語録、安置当山之奥頭、名此峰称五老^(峰カ)、然者当山之住持者、五老之塔主也、瑩山門徒中守嗣法次第、可住持興行、其故者、山僧之遺跡、諸山之内、可崇重遺跡也、嗣法人可住持興行、縦雖嗣法人断絶、門徒小師中評定和平、而須住持興隆者、何他門必之不可崇敬五老故也、依之尽未来際、瑩山嗣^(法カ)□小師、剃頭小師、参学門人、受具受戒、出家在家、諸門弟等一味□□、以当山為一大

事、偏奉崇敬五老峰、專可興行門風、是則瑩山尽未來際之本望也、仏言、篤信檀越得之時、仏法不斷絶^{云々}、又云、敬檀那可如仏戒定慧解、皆依檀那力而成就^{云々}、然間瑩山今生仏法修行、依此檀越信心成就、故尽未來際以此本願主子子^{孫孫}、可為当山大檀越・大恩所、是故師檀和合、而親作水魚^肥、來際一如、而可致骨肉思、用心如此者、實是可為当山之師檀、縱使有難值難遇之事、必可生和合和睦之思、以此置文為当山來際之龜鏡、為住持檀越之眼目、以老通写両通、師檀共加折目判形、一通納寺庫、一通持檀家、可為師檀相互之後証、檀那之崇敬、此門徒之商議、住持住持之、彼檀越之遺付子孫、可崇重之、置文之状如件、

開關瑩山紹瑾（花押）

元応元年^{（一三一九）}己未十二月八日

本願檀主平氏女祖忍（花押）

- (2) 「惣持寺未來住持職事」「右彼寺者、瑩山和尚讓^ニ与韶磧^ニ一処也。仍於^ニ後代之住持職^ニ者、於^ニ韶磧法嗣之中^ニ、撰^ニ器用仁於^ニ而可^レ補^ニ住持職^ニ、於末代^ニ、守^ニ此旨^ニ、可^ニ住持^ニ之状如^レ件。康安^二壬寅^一二月九日 住持韶磧（花押）」
- (3) 「惣持寺山門住持職事」「韶磧門下守^ニ嗣法次第^ニ、五ヶ年可^ニ住持^ニ、若此中有^ニ山門廢^ニ者、法眷等相寄可^ニ評定^ニ之、仍為^ニ後証^ニ垂示如^レ件。貞治三年十二月十三日 惣持韶磧（花押）」
- (4) 五院から派生した庵末七〇ヶ寺、さらには瑩山・峨山禪師の法嗣が開いた直末三六門も總持寺教団の発展において無視することはできない。

- (5) 開山から三五世承天青順までが記録され、その後に「諸嶽山總持寺二代韶磧和尚嗣法次第」がある。これには「貞治五季丙午八月三日已上法嗣伝戒二十八人韶磧在判、能州鳳至郡櫛引庄諸嶽山總持禪寺於免僧 誌焉訖 皆明応参天竜集甲寅季夏下澣」の奥書があり、一番無底良韶から廿八番祖一藏主までの記録である。そしてさらに尾に

「茲時享保十二丁未秋在武陵使廬岳僧書写者也 洞谷山永光護国禅寺現住天海（花押）」とあり、天海の転写にかかるとある。

(6) 『住山記』と永光寺本の世代を比較すると、つぎのような相違がある。

(イ) 永光寺本には一〇世と一一世の間に「前任月泉和尚諱良印」が記載されている。

(ロ) 『住山記』三五世直傳祖和尚、三六世曇叟芳和尚が、永光寺本では三五世曇叟和尚諱桂芳、三六世直傳和尚諱正祖となっている。

(ハ) 『住山記』一五四世字溪亘和尚、一五五世松山喬和尚、一五六世仁華訥和尚が、永光寺本では一五四世松山和尚諱智喬、一五五世仁華和尚諱智訥、一五六世（空白）となっている。

(ニ) 『住山記』一八三世の後に「前任当山大瑞祐和尚」とあるが、永光寺本では「前任太瑞和尚諱良祐」とあり、ともに世代に数えていない。

(ホ) 『住山記』一九一世（空白）、一九二世虎嶽龍和尚が、永光寺本では一九一世虎岳和尚諱正龍、一九二世（空白）となっている。

なお『住山記』三七世大林棟和尚が、永光寺本では三七世大材和尚諱禅棟、『住山記』一〇二世盟堂主和尚が、永光寺本では一〇二世盟室和尚諱繼主となっている。

（平成十年度科学研究費基盤研究(A)による研究）

總持寺住山記

總持禪寺開山以來住持之次第 (第一号)

能州諸嶽山總持禪寺住山之次第

(表紙裏) 住山比丘⁽¹⁾ 宗葩⁽²⁾謹誌

(表紙裏) 朱書、白巖記朱書ノ外調ルニ暇無故ニ略ス

能州諸嶽山總持禪寺住山之次第此枝公用蓋シ受業生縁盡ク

(一表) 總持禪寺開山以來

不レ能ニ諳知一為^ル其孫一者可ニ記^{シテ}而補一者歟 皆永享貳庚戌年仲

住持之次第

夏日 當寺東堂龍護真化和尚命 維那宗洞書^{セシム}

開山瑩山禪師

開山瑩山和尚諱紹瑾

受業 永平辨和尚
嗣法 大乘价和尚 越前人事

(一裏) 二世峨山碩和尚 嗣瑩山禪師

洞谷再住 四世 貳代峩山和尚諱紹碩

受業 瑩山和尚 能州人事

三世太原眞和尚 嗣峩山碩和尚

洞谷住 十三世 三世 示寂 大源和尚諱宗眞

受業 峩山和尚 賀州人事

第四世無際證和尚 嗣峩山

四世 示寂 無際和尚諱純證

受業 瑩山和尚 能州人事

(二表) 第五世通幻靈和尚 嗣峩山

五世 示寂 通幻和尚諱寂靈

受業 峩山和尚 豐州人事

第六世太山元和尙 嗣峩山

六世 示寂 太山和尚諱如元

受業 峩山和尚 九州人事

『總持寺住山記』について

第七世無端環和尚	嗣峩山	七世	示寂	無端和尚諱祖環	受業	瑩山和尚	能州人事
(三裏)			入牌		嗣法	峩山和尚	
第八世大徹令和尚	嗣峩山	八世	示寂	大徹和尚諱宗令	受業	無方和尚	肥前人事
			入牌		嗣法	峩山和尚	
第九世實峯秀和尚	嗣峩山	九世	示寂	實峯和尚諱良秀	受業	峩山和尚	能州人事
			入牌		嗣法	峩山和尚	
第十世竺堂源和尚	嗣峩山	十世	示寂	竺堂和尚諱了源	受業	明峯和尚	山城人事
			入牌		嗣法	峩山和尚	
(三表)		前往	示寂	月泉和尚諱良印	受業	峩山和尚	能州人事
			入牌		嗣法	峩山和尚	
十一世梅山本和尚	嗣太源真和尚 明德元年十月廿二日寺入	十一世	示寂	梅山和尚諱聞本	受業	孤山和尚	濃州人事
			入牌		嗣法	太源和尚	
十二世普濟救和尚	嗣通幻靈和尚	十二世	示寂	普濟和尚諱善救	受業	淨住寂空和尚	賀州人事
			入牌		嗣法	通幻和尚	
十三世瑞巖麟和尚	嗣無端環和尚	十三世	示寂	瑞岳和尚諱韶麟	受業	峩山和尚	能州人事
			入牌		嗣法	無端和尚	
(三裏)			入牌		受業	辦翁和尚	江州人事
十四世竺山僊和尚	嗣大徹令和尚 應永五年十月廿二日寺入	十四世	示寂	竺山和尚諱得仙	受業	大徹和尚	
			入牌		嗣法	大徹和尚	
十五世貝林藉和尚	嗣實峰秀和尚	十五世	示寂	貝林和尚諱侑藉	受業	大道和尚	幡州人事
			入牌		嗣法	實峰和尚	
十六世了菴明和尚	嗣通幻靈和尚	十六世	示寂	了庵和尚諱慧明	受業	不聞和尚	相州人事
			入牌		嗣法	通幻和尚	
(四表)			入牌		受業	明峯和尚	能州人事
十七世天菴曙和尚	嗣無等崇和尚	十七世	示寂	天庵和尚諱禪暑 <small>禪乎曙乎</small>	嗣法	無等和尚	
			入牌		受業	大方和尚	信州人事
十八世日山旭和尚	嗣大徹令和尚 應永十二年九月十五日寺入	十八世	示寂	日山和尚諱良旭	嗣法	大徹和尚	
			入牌		受業	孤峯和尚	雲州人事
十九世不見見和尚	嗣通幻靈和尚 應永十三年二月廿二日寺入	十九世	示寂	不見和尚諱明見	嗣法	通幻和尚	
(四裏)			入牌		受業	蒙山和尚	薩州人事
二十世石屋梁和尚	嗣通幻靈和尚 應永十四年七月十九日寺入	廿世	示寂	石屋和尚諱眞梁	嗣法	通幻和尚	

卅五世直傳祖和尚 (七表) 應永廿六年三月十一日 寺入	卅四世奇叟珍和尚 (9) 應永廿五年八月十二日 寺入	卅三世傳芳受和尚 (8) 應永廿五年三月晦日 寺入	卅二世大成林和尚 (7) 應永廿四年八月十三日 寺入	卅一世玉麟天和和尚 (六裏) 應永廿四年五月廿日 寺入	三十世珠山珍和尚 應永廿三年十月廿日 寺入	廿九世天德貞和尚 (六表) 應永廿三年四月廿九日 寺入	廿八世月浦光和和尚 應永廿二年八月十五日 寺入	廿七世太初覺和尚 應永廿二年二月廿八日 寺入	廿六世中明方和尚 (五裏) 應永廿一年七月廿九日 寺入	廿五世天巖越和尚 應永廿年八月廿八日 寺入	廿四世青山秀和尚 應永十九年十月十日 寺入	廿三世芳菴嚴和尚 (五表) 應永十八年四月廿九日 寺入	廿二世竹牕嚴和尚 應永十六年十一月一日 寺入	廿一世明牕光和和尚 應永十六年三月廿九日 寺入
--------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------	--------------------------------------	-------------------------------	------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--------------------------------------	------------------------------	-------------------------------

卅五世	卅四世	卅三世	卅二世	卅一世	卅世	廿九世	廿八世	廿七世	廿六世	廿五世	廿四世	廿三世	廿二世	廿一世	
入牌	示寂	入牌	示寂	入牌	示寂	入牌	示寂	入牌	示寂	入牌	示寂	入牌	示寂	入牌	示寂
曇叟和尚諱桂芳	奇叟和尚諱異珍	傳芳和尚諱良受	大成和尚諱宗林	玉麟和尚諱韶天	珠山和尚諱從珍	天德和尚諱曇貞	月浦和尚諱珪光	太初和尚諱繼覺	中明和尚諱見方	天巖和尚諱宗越	青山和尚諱性宗	芳庵和尚諱祖嚴	竹牕和尚諱智嚴	明窓和尚諱妙光	
嗣法 瑞岳和尚	受業 無端和尚	嗣法 實峰和尚	受業 大徹和尚	受業 瑞巖和尚	受業 泰山和尚	嗣法 通幻和尚	受業 中山和尚	嗣法 佛心國師	受業 實峰和尚	受業 大徹和尚	嗣法 瑞岳和尚	受業 通幻和尚	受業 了堂和尚	受業 無外和尚	
越後人事	南蛮國人事	羽州人事	豐後人事	羽州人事	賀州人事	肥後人事	越中人事	紀州人事	伊賀人事	越中人事	能州人事	攝州人事	江州人事	日州人事	

『總持寺住山記』について

卅六世曇叟芳和尚 應永廿六年八月十五日寺入	卅七世大林棟和尚 ⁽¹¹⁾ 應永廿六年十一月十五日寺入	卅八世普門三和尚 ^(七裏) 應永廿七年二月廿一日寺入	卅九世大澤恩和尚 應永廿七年八月十二日寺入	四十世如仲闖和尚 ^(八表) 應永廿八年三月十日寺入	四十一世竹居猷和尚 應永廿八年八月十二日寺入	四十二世敬堂崇和尚 應永廿八年十月十六日寺入	四十三世不藏直和尚 ^(八裏) 應永廿九年三月六日寺入	四十四世天香桂和尚 ⁽¹²⁾ 應永廿九年八月十二日寺入	四十五世大容清和尚 ⁽¹³⁾ 應永廿九年十一月十四日寺入	四十六世了巖明和尚 ^(九表) 應永卅年三月十四日寺入	四十七世日東春和尚 應永卅年八月十五日寺入	四十八世月桂乘和尚 應永卅一年一月廿八日寺入	四十九世天海曇和尚 應永卅一年八月廿三日寺入	五十世大綱宗和尚 ^(九裏) 應永卅二年六月九日寺入
卅六世	卅七世	卅八世	卅九世	四十世	四十一世	四十二世	四十三世	四十四世	四十五世	四十六世	四十七世	四十八世	四十九世	五十世
示寂 入牌	示寂 入牌	示寂 入牌	示寂 入牌	示寂 入牌	示寂 入牌	示寂 入牌	示寂 入牌	示寂 入牌	示寂 入牌	示寂 入牌	示寂 入牌	示寂 入牌	示寂 入牌	示寂 入牌
直傳和尚諱正祖	大材和尚諱禪棟	普門和尚諱元三	大澤和尚諱慈恩	如仲和尚諱天闖	竹居和尚諱正猷	敬堂和尚諱信崇	不藏和尚諱可直	天香和尚諱融桂	大容和尚諱梵清	了岩和尚諱元明	日東和尚諱韶春	月桂和尚諱立乘	天海和尚諱希曇	大綱和尚諱明宗
受業 嗣法	受業 嗣法	受業 嗣法	受業 嗣法	受業 嗣法	受業 嗣法	受業 嗣法	受業 嗣法	受業 嗣法	受業 嗣法	受業 嗣法	受業 嗣法	受業 嗣法	受業 嗣法	受業 嗣法
通幻和尚 普濟和尚	安意上座 竺山和尚	大徹和尚	實峰和尚	大拙和尚 梅山和尚	通幻和尚 石屋和尚	無端和尚 瑞巖和尚	曇庵和尚 大徹和尚	普明和尚 天外和尚	石屋和尚 了堂和尚	通幻和尚 不見和尚	瑞巖和尚	大徹和尚	明愍和尚 拔華和尚	了庵和尚
丹州人事	肥州人事	羽州人事	備中人事	上州人事	薩州人事	能州人事	羽州人事	城州人事	薩州人事	城州人事	賀州人事	作州人事	防州人事	越州人事

五十一世大琳珍和尚	嗣瑞岳麟和尚 應永卅二年八月十三日 寺入	五十一世	示寂 入牌	大琳和尚諱韶珍	受業 嗣法	瑞巖和尚	肥後人事
五十二世希明良和尚	嗣天真性和尚 應永卅二年十一月十九日 寺入	五十二世	示寂 入牌	希明和尚諱清良	受業 嗣法	天真和尚	越前人事
五十三世浩齋養和尚	嗣大徹令和尚 應永卅三年三月三日 寺入	五十三世	示寂 入牌	浩齋和尚諱契養	受業 嗣法	大徹和尚	肥前人事
五十四世海慧香和尚	嗣中明方和尚 應永卅三年六月八日 寺入	五十四世	示寂 入牌	海慧和尚諱正香	受業 嗣法	用堂和尚 中明和尚	備中人事
五十五世通峯宗和尚	嗣竹惣嚴和尚 應永卅三年八月十三日 寺入	五十五世	示寂 入牌	通峰和尚諱眞宗	受業 嗣法	了堂和尚 竹惣和尚	藝州人事
五十六世可屋悅和尚	嗣日山旭和尚 應永卅三年十月廿八日 寺入	五十六世	示寂 入牌	可屋和尚諱良悅	受業 嗣法	日山和尚	羽州人事
五十七世嫩桂榮和尚	嗣芳菴巖和尚 應永卅四年三月二日 寺入	五十七世	示寂 入牌	嫩桂和尚諱祐榮	受業 嗣法	芳庵和尚	下野人事
五十八世天中曇和尚	嗣金陵柔和尚 應永卅四年五月十五日 寺入	五十八世	示寂 入牌	天中和尚諱良曇	受業 嗣法	金龍和尚	賀州人事
五十九世日菴光和尚	嗣天德貞和尚 應永卅四年八月十日 寺入	五十九世	示寂 入牌	日菴和尚諱曇光	受業 嗣法	天德和尚	薩州人事
六十世藏石幢和尚	嗣天岳越和尚 應永卅四年十一月十五日 寺入	六十世	示寂 入牌	藏石和尚諱上幢	受業 嗣法	少室和尚 天巖和尚	武州人事
六十一世禪室安和尚	嗣大徹令和尚 應永卅五年二月十八日 寺入	六十一世	示寂 入牌	禪室和尚諱宗安	受業 嗣法	大徹和尚	但州人事
六十二世唄菴梵和尚	嗣不見見和尚 應永卅五年 正長六月一日 寺入 改元	六十二世	示寂 入牌	貝菴和尚諱義梵	受業 嗣法	象室和尚 不見和尚	隅州人事
六十三世輦中柔和尚	嗣春岳東和尚 正長元年九月廿一日 寺入	六十三世	示寂 入牌	輦中和尚諱聖柔	受業 嗣法	鐵心和尚 春岳和尚	丹州人事
六十四世眞化淳和尚	嗣中明方和尚 正長元年十一月十五日 寺入	六十四世	示寂 入牌	眞化和尚諱玄淳	受業 嗣法	實峰和尚 中明和尚	能州人事
六十五世僊巖範和尚	嗣太初覺和尚 正長二年二月十八日 寺入	六十五世	示寂 入牌	僊巖和尚諱能範	受業 嗣法	太初和尚	藝州人事

『總持寺住山記』について

六十六世玉惣珍和尚	嗣普濟救和尚 正長二年五月廿一日寺入	六十六世	示寂 入牌	玉窓和尚諱良珍	受業 嗣法	通幻和尚 普濟和尚	賀州人事
六十七世大蟲虎和尚	嗣實庭眞和尚 正長二年八月十日寺入	六十七世	示寂 入牌	大蟲和尚諱超虎	受業 嗣法	實庭和尚	肥後人事
六十八世大壽彭和尚	嗣天岳越和尚 永享元年十一月八日寺入	六十八世	示寂 入牌	大壽和尚諱宗彭	受業 嗣法	天巖和尚	隅州人事
六十九世雲澤興和尚	嗣瑞岳麟和尚 永享二年二月十八日寺入	六十九世	示寂 入牌	雲澤和尚諱韶興	受業 嗣法	瑞巖和尚	能州人事
七十世要津宗和尚	嗣明惣光和尚 永享二年五月十二日寺入	七十世	示寂 入牌	要津和尚諱良宗	受業 嗣法	玉海和尚 明窓和尚	江州人事
七十一世惟忠勤和尚	嗣竺山僊和尚 永享二年八月十二日寺入	七十一世	示寂 入牌	惟忠和尚諱守勤	受業 嗣法	竺山和尚	摂州人事
七十二世春谷葩和尚	嗣同軌轍和尚 永享二年十一月十九日寺入	七十二世	示寂 入牌	春谷和尚諱宗葩	受業 嗣法	了堂和尚 阿轍首座	薩州人事
七十三世英巖傑和尚	嗣大澤恩和尚 永享三年二月十三日寺入	七十三世	示寂 入牌	英巖和尚諱章傑	受業 嗣法	大澤和尚	江州人事
七十四世龍顔偉和尚	嗣大成林和尚 永享三年五月十二日寺入	七十四世	示寂 入牌	龍顔和尚諱宗偉	受業 嗣法	通幻和尚 大成和尚	防州人事
七十五世無聞音和尚	嗣量外壽和尚 永享三年八月十五日寺入	七十五世	示寂 入牌	無聞和尚諱聖音	受業 嗣法	量外和尚	土州人事
七十六世中翁邦和尚	嗣竹居猷和尚 永享四年四月廿七日寺入	七十六世	示寂 入牌	中翁和尚諱守邦	受業 嗣法	竺山和尚 竹居和尚	薩州人事
七十七世笑隱闔和尚	嗣青山秀和尚 永享四年八月十日寺入	七十七世	示寂 入牌	笑隱和尚諱紹闔	受業 嗣法	瑞岩和尚 青山和尚	越州人事
七十八世竺庭僊和尚	嗣日山旭和尚 永享五年二月十八日寺入	七十八世	示寂 入牌	竺庭和尚諱慈仙	受業 嗣法	日山和尚	奥州人事
七十九世珂仲璨和尚	嗣禪室安和尚 永享五年八月九日寺入	七十九世	示寂 入牌	珂仲和尚諱璽璨	受業 嗣法	禪室和尚	薩州人事
八十世大輝曜和尚	嗣如中闔和尚 永享六年三月九日寺入	八十世	示寂 入牌	大輝和尚諱堅曜	受業 嗣法	會堂和尚 如仲和尚	尾州人事

八十一世昌菴丰和尚⁽²⁵⁾ 嗣芳菴嚴和尚 永享六年八月九日寺入

八十二世昭海周和尚⁽²⁶⁾ 嗣春岩東和尚 永享七季二月廿一日寺入

八十三世天澤德和尚⁽²⁷⁾ 嗣大成林和尚 永享七季八月十一日寺入

八十四世南天生和尚⁽²⁸⁾ 嗣明窓光和尚 永享七年十二月十四日寺入

八十五世明林哲和尚⁽²⁹⁾ 嗣太初覺和尚 永享八年二月廿三日寺入

八十六世實菴貞和尚⁽³⁰⁾ 嗣不見見和尚 永享八年五月廿八日寺入

八十七世密傳嚴和尚⁽³¹⁾ 嗣明室鏡和尚 永享八季六月廿九日寺入

八十八世大中興和尚^(二六表) 嗣竹窓嚴和尚 永享八年八月十二日寺入

八十九世一溪源和尚 嗣閻堂閻和尚 永享八季十一月七日寺入

九十世古室鑑和尚 嗣普濟救和尚 永享九年二月廿九日寺入

九十一世利仲速和尚⁽³²⁾ 嗣中明方和尚 永享九季三月廿一日寺入

九十二世哲叟俊和尚^(二六裏) 嗣天德貞和尚 永享九年六月一日寺入

九十三世如蘭芳和尚⁽³³⁾ 嗣曇叟芳和尚 永享九年八月十一日寺入

九十四世春叟交和尚 嗣月桂乘和尚 永享九年霜月四日寺入

九十五世金峰玉和尚^(二七表) 嗣傳芳受和尚 永享十年二月十八日寺入

八十一世	昌菴和尚諱恆丰	受業 嗣法 芳菴和尚	豫州人事
八十二世	昭海和尚諱千周	受業 嗣法 春岩和尚	日州人事
八十三世	天澤和尚諱令德	受業 嗣法 大徹和尚	濃州人事
八十四世	南天和尚諱祖生	受業 嗣法 明窓和尚	備州人事
八十五世	明林和尚諱宗哲	受業 嗣法 太初和尚	奥州人事
八十六世	實菴和尚諱見貞	受業 嗣法 不見和尚	因州人事
八十七世	密傳和尚諱性嚴	受業 嗣法 明室和尚	豫州人事
八十八世	大中和尚諱奇興	受業 嗣法 了堂和尚	薩州人事
八十九世	一溪和尚諱宗源	受業 嗣法 良閻首座	肥後人事
九十世	古室和尚諱法鑑	受業 嗣法 通幻和尚	能州人事
九十一世	利仲和尚諱長速	受業 嗣法 普濟和尚	日州人事
九十二世	哲叟和尚諱総俊	受業 嗣法 中明方和尚	越後人事
九十三世	如蘭和尚諱麟芳	受業 嗣法 天德員和尚	能州人事
九十四世	泰叟和尚諱宗交	受業 嗣法 瑞巖和尚	能州人事
九十五世	金峰和尚諱宗玉	受業 嗣法 麟山足西堂	能州人事
		受業 嗣法 佛智大應禪師	攝州人事

『總持寺住山記』について

九十六世古澗泉和尚	嗣太宗清和尚 永享十年六月一日入寺	九十六世	示寂 入牌	古澗和尚諱仁泉	受業 嗣法	天模和尚 太宗和尚	信州人事
九十七世義芳訓和尚	嗣明窓光和尚 永享十年八月十一日入寺	九十七世	示寂 入牌	義芳和尚諱光訓	受業 嗣法	東川和尚 明窓和尚	日州人事
九十八世足室給和尚	嗣竹居猷和尚 同十一月十五日入寺	九十八世	示寂 入牌	足室和尚諱圓給	受業 嗣法	石屋梁和尚 竹居猷和尚	日州人事
九十九世弑嶽殊和尚	嗣天巖越和尚 永享十一年閏正月六日入寺	九十九世	示寂 入牌	一嶽和尚諱宗殊	受業 嗣法	大徹和尚 天巖和尚	信州人事
一百世喜山讚和尚	嗣如仲闓和尚 同二月廿一日入寺	一百世	示寂 入牌	喜山和尚諱正讚	受業 嗣法	月海和尚 如仲和尚	信州人事
一百一世得岩祐和尚	嗣大澤恩和尚 同五月十九日入寺	一百一世	示寂 入牌	得巖和尚諱善祐	受業 嗣法	悅堂和尚 大澤和尚	濃州人事
一百二世盟堂主和尚	嗣快翁俊和尚 同八月初四日入寺	一百二世	示寂 入牌	盟室和尚諱繼主	受業 嗣法	快翁和尚	日州人事
一百三世珪峯金和尚	嗣大成林和尚 同十一月八日入寺	一百三世	示寂 入牌	珪峰和尚諱妙金	受業 嗣法	大徹和尚 大成和尚	和州人事
一百四世石堂珍和尚	嗣中心忠和尚 永享十二年二月廿一日入寺	一百四世	示寂 入牌	石堂和尚諱良珍	受業 嗣法	通海和尚 中心和尚	下野人事
一百五世日照光和尚	嗣玉麟天和尚 永享十二年六月一日入寺	一百五世	示寂 入牌	日照和尚諱韶光	受業 嗣法	玉麟天和尚	越中人事
一百六世南畝苗和尚	嗣大壽彰和尚 永享十二年八月七日入寺	一百六世	示寂 入牌	南畝和尚諱宗苗	受業 嗣法	大壽和尚	濃州人事
一百七世竹岩嚴和尚	嗣中明方和尚 永享十二年十一月八日入寺	一百七世	示寂 入牌	竹巖和尚諱省嚴	受業 嗣法	貝林和尚 中明和尚	越前人事
一百八世明琳哲和尚	嗣不藏直和尚 永享十三年二月六日入寺	一百八世	示寂 入牌	明琳和尚諱玄哲	受業 嗣法	不藏和尚	奥州人事
一百九世傳翁正和尚	嗣通谷果和尚 嘉吉元年六月三日入寺	一百九世	示寂 入牌	傳翁和尚諱智正	受業 嗣法	正果書記	雲州人事
一百十世寰中勅和尚	嗣青山秀和尚 嘉吉元年八月十五日入寺	百十世	示寂 入牌	寰中和尚諱韶勅	受業 嗣法	瑞巖和尚 青山和尚	能州人事

一百一十一世海日照和尚	嗣大成林和尚 嘉吉元季小春八日入寺	百一十一世	示寂 入牌	海日和尚諱宗照	受業 嗣法	大徹和尚 大成和尚	越中人事
一百一十二世海岸超和尚	嗣不藏直和尚 嘉吉元季十一月初八日入寺	百一十二世	示寂 入牌	海岸和尚諱祖超	受業 嗣法	虎溪和尚 不藏和尚	武州人事
一百一十三世模菴範和尚	嗣月礪印和尚 同二年二月初五日入寺	百一十三世	示寂 入牌	模菴和尚諱受範	受業 嗣法	聖徒麟和尚 月礪和尚	和泉人事
一百一十四世大愚才和尚	嗣大用慶和尚 同二年五月十日入寺	百一十四世	示寂 入牌	大愚和尚諱璟才	受業 嗣法	玉峰和尚 性慶和尚	賀州人事
一百一十五世古科遵和尚	嗣日東春和尚 同二年八月十一日入寺	百一十五世	示寂 入牌	古科和尚諱韶遵	受業 嗣法	瑞巖和尚 日東和尚	能州人事
一百一十六世竺翁僊和尚	嗣天海曇和尚 同二年十一月初六日入寺	百一十六世	示寂 入牌	竺翁和尚諱中僊	受業 嗣法	天海和尚	薩州人事
一百一十七世悅堂忻和尚	嗣可屋悅和尚 同三年二月初六日入寺	百一十七世	示寂 入牌	悅堂和尚諱令忻	受業 嗣法	可屋和尚	越中人事
一百一十八世太嶽徹和尚	嗣諸翁參和尚 同三年五月初九日入寺	百一十八世	示寂 入牌	太嶽和尚諱宥徹	受業 嗣法	諸翁和尚	肥後人事
一百一十九世宗峰超和尚	嗣仙林菊和尚 同三年八月十日入寺	百一十九世	示寂 入牌	宗峰和尚諱宗超	受業 嗣法	仙林和尚	築州人事
一百二十世松巖貞和尚	嗣日東春和尚 同三年十一月八日入寺	百廿世	示寂 入牌	松巖和尚諱麟貞	受業 嗣法	瑞岩和尚 日東和尚	能州人事
一百二十一世壽岳椿和尚	嗣僊岩範和尚 同四年二月廿一日入寺	百廿一世	示寂 入牌	壽岳和尚諱景椿	受業 嗣法	仙岳和尚	薩州人事
一百二十二世岱嶽宗和尚	嗣月江雲和尚 文安元年五月廿一日入寺	百廿二世	示寂 入牌	岱嶽和尚諱應宗	受業 嗣法	大徹和尚 月江和尚	越中人事
一百二十三世雲岫山和尚	嗣曇叟芳和尚 文安元年七月七日入寺	百廿三世	示寂 入牌	雲岫和尚諱桂山	受業 嗣法	瑞岳和尚 曇叟和尚	豫州人事
一百廿四世夢印原和尚	嗣天德貞和尚 文安元年八月十一日入寺	百廿四世	示寂 入牌	夢印和尚諱英原	受業 嗣法	大法和尚 天德和尚	丹州人事
一百廿五世旨山宗和尚	嗣普門三和尚 文安元子甲十一月九日入寺	百廿五世	示寂 入牌	旨山和尚諱元宗	受業 嗣法	大徹和尚 普門和尚	羽州人事

『總持寺住山記』について

一百廿六世悦叟喜和尚	嗣大琳珎和尚 文安二年 ^丑 二月十八日入寺	百廿六世	示寂 入牌	悦叟和尚諱妙喜	受業 嗣法	大琳和尚	肥前人事
一百廿七世雪巖松和尚	嗣真化淳和尚 文安二年 ^丑 五月十三日入寺	百廿七世	示寂 入牌	雪岳和尚諱侑松	受業 嗣法	日林和尚 真化和尚	能州人事
一百廿八世密傳妙和尚	嗣月江雲和尚 文安二年 ^丑 八月十一日入寺	百廿八世	示寂 入牌	密傳和尚諱應妙	受業 嗣法	大徹和尚 月江和尚	越中人事
一百廿九世天龍杲和尚	嗣傑叢俊和尚 文安二年 ^丑 霜月十六日入寺	百廿九世	示寂 入牌	天龍和尚諱義杲	受業 嗣法	傑叟和尚	城州人事
一百三十世関翁徹和尚	嗣月點永和和尚 ⁽⁵⁶⁾ 文安參年 ^丙 二月廿八日入寺	百卅世	示寂 入牌	関翁和尚諱義徹	受業 嗣法	安意上座 月点和尚	肥後人事
一百卅一世光山瑞和尚	嗣竺庭仙和尚 文安三年 ^寅 五月十九日入寺	百卅一世	示寂 入牌	光山和尚諱祥瑞	受業 嗣法	旭海和尚 竺庭和尚	奥州人事
一百卅二世雲嶽慶和尚	嗣通峯宗和尚 文安三年 ^寅 八月十日入寺	百卅二世	示寂 入牌	雲岳和尚諱至慶	受業 嗣法	竹惣和尚 通峯和尚	和州人事
一百卅三世大化乾鵬和尚	嗣大成林和尚 ⁽⁵⁹⁾ 文安三年 ^寅 十一月七日入寺	百卅三世	示寂 入牌	大化和尚諱乾鵬	受業 嗣法	大成和尚	越中人事
一百卅四世清寧妙祐和尚	嗣機堂長應和尚 文安四年 ^卯 二月十六日入寺	百卅四世	示寂 入牌	清寧和尚諱妙祐	受業 嗣法	機堂和尚	薩州人事
一百卅五世大怡慶和尚	嗣法大材棟和尚 文安四年 ^卯 四月四日入寺	百卅五世	示寂 入牌	大怡和尚諱守慶	受業 嗣法	大材和尚	摂州人事
一百卅六世天麟祐和尚	嗣法直傳祖和尚 文安四年五月初三日入寺	百卅六世	示寂 入牌	天麟和尚諱善祐	受業 嗣法	直傳和尚	賀州人事
一百卅七世雲叟祥和尚	嗣法青山秀和尚 文安四年八月初七日入寺	百卅七世	示寂 入牌	雲叟和尚諱麟祥	受業 嗣法	瑞巖和尚 青山和尚	賀州人事
一百卅八世大樹棟和尚	嗣法玉麟天和和尚 文安四年霜月初六日入寺	百卅八世	示寂 入牌	大樹和尚諱祥棟	受業 嗣法	玉麟和尚	越州人事
一百卅九世白隱知和尚	嗣法天澤徳和尚 文安五年二月七日入寺	百卅九世	示寂 入牌	白隱和尚諱全知	受業 嗣法	以牧藏主 天澤真和尚	薩州人事
一百四十世雲宙龍和尚	嗣法禪室安和尚 文安五年五月九日入寺	百四十世	示寂 入牌	雲宙和尚諱永龍	受業 嗣法	禪室和尚	江州人事

一百四十一世萬年榮和尚	嗣法機舜珉和尚 文安五年八月十二日入寺	百四十一世	示寂 入牌	萬年和尚諱中榮	受業 嗣法	明窓光和尚 機舜珉和尚	日向人事
一百四十二世天遊光和尚	嗣法月桂乘和尚 文安五年霜月七日入寺	百四十二世	示寂 入牌	天遊和尚諱立光	受業 嗣法	月桂和尚	濃州人事
一百四十三世不琢珪和尚	嗣法如仲豈和尚 文安六年二月廿一日入寺	百四十三世	示寂 入牌	不琢和尚諱玄珪	受業 嗣法	梅山和尚 恕仲和尚	越州人事
一百四十四世龍傳金和尚	嗣法玉窓珎和尚 文安六年五月七日入寺	百四十四世	示寂 入牌	龍傳和尚諱慧金	受業 嗣法	直傳和尚 玉窓和尚	賀州人事
一百四十五世覺隱本和尚	嗣法石屋梁和尚 寶應元年八月六日入寺	百四十五世	示寂 入牌	覺隱和尚諱永本	受業 嗣法	石屋梁和尚	隅州人事
一百四十六世仁叟智和尚	嗣法嬾桂榮和尚(ママ) 寶應元年閏十月入寺	百四十六世	示寂 入牌	仁叟和尚諱純智	受業 嗣法	芳菴和尚 嬾桂和尚	越前人事
一百四十七世月洲中和尚	嗣法快翁和尚 寶應元年五月六日入寺	百四十七世	示寂 入牌	月洲和尚諱繼中	受業 嗣法	快翁和尚	日向人事
一百四十八世大椿廣和尚	嗣法青山秀和尚 寶應二年二月十三日入寺	百四十八世	示寂 入牌	大椿和尚諱慶廣	受業 嗣法	瑞岳和尚 青山和尚	越前人事
一百四十九世金貞慶和尚	嗣法叟交和尚(ママ) 寶應二年五月入寺	百四十九世	示寂 入牌	金貞和尚諱隆慶	受業 嗣法	泰叟和尚	駿州人事
一百五十世化翁淳和尚	嗣法浩齊和尚 寶應二年八月十日入寺	百五十世	示寂 入牌	化翁和尚諱道淳	受業 嗣法	浩齊和尚	越前人事
一百五十一世古心善和尚	嗣法昭海和尚 寶應二年十一月七日入寺	百五十一世	示寂 入牌	古心和尚諱宗善	受業 嗣法	大模和尚 照海和尚	豫州人事
一百五十二世物外應和尚	嗣法如仲和尚 寶應三年二月十八日入寺	百五十二世	示寂 入牌	物外和尚諱性應	受業 嗣法	如仲和尚	信州人事
一百五十三世中和融和尚	嗣法天香和尚 寶應三年五月十二日入寺	百五十三世	示寂 入牌	中和和尚諱昌融	受業 嗣法	天香和尚	肥州人事
一百五十四世字溪正和尚	嗣法大中和尚 寶應三年八月三日入寺	百五十四世	示寂 入牌	松山和尚諱智喬	受業 嗣法	竹窓和尚 通峯和尚	薩州人事
一百五十五世松山喬和尚	嗣法通峯和尚 寶應三年辛未十月五日入寺	百五十五世	示寂 入牌	仁華和尚諱智訥	受業 嗣法	竹窓和尚 草堂和尚	薩州人事

『總持寺住山記』について

一百五十六世仁華訥和尚 ⁽⁷⁶⁾	嗣法草堂和尚 寶應三年 ^{辛未} 霜月九日入寺	百五十六世	示寂 入牌	盛仲和尚諱玄訓	受業 嗣法	大田和尚 春谷和尚	薩州人事
一百五十七世盛仲訓和尚 ⁽⁷⁷⁾	嗣法春谷和尚 寶德三年 ^{辛未} 極月十八日 ^(ママ)	百五十七世	示寂 入牌	盛仲和尚諱玄訓	受業 嗣法	實底和尚 春谷和尚	肥州人事
一百五十八世竺菴仙和尚 ⁽⁷⁸⁾	嗣法實底和尚 寶德四年二月廿二日 ^(ママ)	百五十八世	示寂 入牌	竺菴和尚諱中仙	受業 嗣法	無聞和尚 運溪和尚	肥州人事
一百五十九世叔芳芝和尚	嗣法運溪和尚 ^(ママ) 寶應四年 ^{四月十四日}	百五十九世	示寂 入牌	叔芳和尚諱性芝	受業 嗣法	月菴和尚 悅傳和尚	肥州人事
一百六十世一傳訓和尚 ⁽⁷⁹⁾	嗣法傳高和尚 寶應四年 ^{壬申} 五月廿六日 ^(ママ)	百六十世	示寂 入牌	一傳和尚諱喜訓	受業 嗣法	瑞巖和尚 雲澤和尚	攝州人事
一百六十一世乾翁竺和尚	嗣法雲澤和尚 寶德四年 ^{壬申} 七月十一日入寺	百六十一世	示寂 入牌	乾翁和尚諱韶竺	受業 嗣法	恕仲和尚 明林哲和尚	肥前人事
一百六十二世無功功和尚	嗣法明林哲和尚 寶德四年八月六日入寺	百六十二世	示寂 入牌	無功和尚諱天功	受業 嗣法	普濟救和尚 直傳祖和尚	越前人事
一百六十三世怡雲欣和尚 ⁽⁸⁰⁾	嗣法直傳祖和尚 寶德四年 ^{壬申} 閏八月六日 ^{寺入}	百六十三世	示寂 入牌	怡雲和尚諱如欣	受業 嗣法	了岩和尚 覺隱和尚	薩州人事
一百六十四世大功忠和尚 ⁽⁸¹⁾	嗣法覺隱本和尚 ^(ママ) 享應元年十月二日	百六十四世	示寂 入牌	大功和尚諱圓忠	受業 嗣法	竺山和尚 惟忠勤和尚	攝州人事
一百六十五世禮中帛和尚 ⁽⁸²⁾	嗣法惟忠勤和尚 享德元年十一月七日入寺	百六十五世	示寂 入牌	禮中和尚諱玄帛	受業 嗣法	天岩悅和尚 大壽和尚	濃州人事
一百六十六世明巖森聰和尚 ⁽⁸³⁾	嗣法大壽彰和尚 享德元年十二月六日入寺	百六十六世	示寂 入牌	明巖和尚諱森聰	受業 嗣法	天岩和尚 一岳和尚	能州人事
一百六十七世親院宗睦和尚 ⁽⁸⁴⁾	嗣法一岳殊和尚 享德二年二月十日入寺	百六十七世	示寂 入牌	親院和尚諱宗睦	受業 嗣法	浩齊和尚	上総人事
一百六十八世和菴清閻和尚	嗣法浩齊養和尚 享應二年四月四日入寺	百六十八世	示寂 入牌	和菴和尚諱清閻	受業 嗣法	軟中和和尚	薩州人事
一百六十九世人天聖仙和尚 ⁽⁸⁵⁾	嗣法軟中和和尚 享應二年五月七日入寺	百六十九世	示寂 入牌	人天和尚諱聖仙	受業 嗣法	天澤和尚	豐後人事
一百七十世業父靈助和尚 ^(二九裏)	嗣法天澤德和尚 享應二年六月廿四日入寺	百七十世	示寂 入牌	業父和尚諱靈助	受業 嗣法		

一百七十一世南窓奇薰⁽⁸⁶⁾和尚
 享德二年八月六日入寺
 嗣法一柱卓和尚
 嗣法釋天和和尚
 受業大成和尚
 越後州人事
 享德二年九月六日入寺
 嗣法南畝和尚
 受業天巖和尚
 享德二年九月廿九日入寺
 嗣法玉麟和尚
 受業瑞岩和尚⁽⁸⁸⁾
 享德二年霜月六日入寺
 嗣法香院和尚
 受業大壽和尚
 享德二年極月六日入寺
 嗣法昌菴和尚
 享德三年二月六日入寺
 嗣法泰叟和尚
 享德三年五月七日入寺
 嗣法竺翁和尚
 享德三年八月十日入寺
 嗣法直傳和尚
 享德三年十一月十五日入寺
 嗣法眞化和尚
 享德四年四月五日入寺
 一百八十一世春屋能和尚
 享德四年閏四月五日入寺
 嗣法祚山和尚
 享德四年五月四日入寺
 一百八十三世通翁球和尚
 享德四年八月六日入寺
 嗣法海岩和尚
 享德四年八月六日入寺
 前住當山大瑞祐和尚⁽⁹⁵⁾
 康正元年霜月四日入寺
 嗣法悅堂和尚
 康正元年霜月四日入寺
 一百八十四世雲山江和尚
 康正元年十二月廿六日入寺
 嗣法海慧和尚⁽⁹⁶⁾
 康正元年十二月廿六日入寺

百七十一世	示寂入牌	南窓和尚諱奇薰	受業 貝林和尚 嗣法 大成和尚	出羽人事
百七十二世	示寂入牌	延慶和尚諱爲祝	受業 大成和尚 嗣法 釈天和和尚	越后人事
百七十三世	示寂入牌	祥山和尚諱祖麟	受業 天岳和尚 嗣法 南畝和尚	越州人事
百七十四世	示寂入牌	俊鶚和尚諱韶傑	受業 瑞岩和尚 嗣法 玉麟和尚	能州人事
百七十五世	示寂入牌	大龍和尚諱宗勢	受業 大壽和尚 嗣法 祖薰和尚	越州人事
百七十六世	示寂入牌	茸菴和尚諱素濃	受業 昌菴和尚 嗣法 昌菴和尚	豫州人事
百七十七世	示寂入牌	諦廣和尚諱隆真	受業 泰叟和尚 嗣法 泰叟和尚	下野人事
百七十八世	示寂入牌	陽谷和尚諱賢春	受業 竺翁和尚 嗣法 竺翁和尚	伯州人事
百七十九世	示寂入牌	心忠和尚諱賢孝	受業 直傳和尚 嗣法 直傳和尚	薩州人事
百八十世	示寂入牌	一菴和尚諱如清	受業 眞化和尚 嗣法 眞化和尚	薩州人事
百八十一世	示寂入牌	春屋和尚諱宗能	受業 大綱和尚 嗣法 大綱和尚	奥州人事
百八十二世	示寂入牌	領山和尚諱良純	受業 祚山和尚 嗣法 祚山和尚	奥州人事
百八十三世	示寂入牌	通翁和尚諱祖球	受業 海岳和尚 嗣法 海岳和尚	佐州人事
前住	示寂入牌	太瑞和尚諱良祐	受業 悅堂和尚 嗣法 悅堂和尚	越中人事
百八十四世	示寂入牌	雲山和尚諱曇江	受業 海惠和尚 嗣法 海惠和尚	江州人事

『總持寺住山記』について

一百八十五世天寧清和尚 ⁽⁹⁷⁾	嗣法天海和尚 康正二年三月廿日入寺	百八十五世	示寂 入牌	天寧和尚諱圓清	受業 嗣法	明窓和尚 天海和尚	薩州人事
一百八十六世馨巖徳和尚 ⁽⁹⁸⁾	嗣法昌菴和尚 康正二年五月二日入寺	百八十六世	示寂 入牌	馨岩和尚諱周徳	受業 嗣法	芳菴和尚 昌菴和尚	能州人事
一百八十七世希曇瓊和尚 ^(三二裏)	嗣法大容和尚 康正二年八月十一日入寺	百八十七世	示寂 入牌	希曇和尚諱崇瓊	受業 嗣法	荆翁和尚 大容和尚	薩州人事
一百八十八世海門徳和尚 ⁽⁹⁹⁾	嗣法大辯和尚 康正二年十一月八日入寺	百八十八世	示寂 入牌	海門和尚諱興恵	受業 嗣法	奇叟和尚 大辯和尚	勢州人事
一百八十九世耕牛田和尚 ^(三三表)	嗣法了巖和尚 康正三年二月十八日入寺	百八十九世	示寂 入牌	耕牛和尚諱興田	受業 嗣法	了岩和尚	隅州人事
一百九十世在天龍和尚 ^(三三裏)	嗣法中翁和尚 康正三年五月七日入寺	百九十世	示寂 入牌	在天和尚諱景龍	受業 嗣法	中翁和尚	薩州人事
一百九十一世 ⁽¹⁰⁰⁾	嗣法無聞和尚 康正三年十一月十三日入寺	百九十一世	示寂 入牌	虎岳和尚諱正龍	受業 嗣法	無聞和尚	隅州人事
一百九十二世帙嶽龍和尚	嗣法笑隱和尚 長祿二年閏正月五日入寺	百九十二世	示寂 入牌	用山和尚諱性運	受業 嗣法	青山和尚 笑隱和尚	若州人事
一百九十三世用山運和尚 ^(三三裏)	嗣法夢印和尚 長祿二年二月九日入寺	百九十三世	示寂 入牌	南叟和尚諱貞薫	受業 嗣法	天徳和尚 夢印和尚	奥州人事
一百九十四世南叟薫和尚	嗣法明林和尚 長祿二年五月三日入寺	百九十四世	示寂 入牌	錦江和尚諱玄文	受業 嗣法	明林和尚	薩州人事
一百九十五世錦江文和尚	嗣法太辯和尚 長祿二年十月十五日入寺	百九十五世	示寂 入牌	大俊和尚諱宗入	受業 嗣法	太辯和尚	薩州人事
一百九十六世大俊入和尚 ^(三四表)	嗣法眞化和尚 長祿二年十一月十五日入寺	百九十六世	示寂 入牌	太養和尚諱淳亨	受業 嗣法	眞化和尚	能州人事
一百九十七世大養亨和尚	嗣法如中閻和尚 長祿三年二月十六日入寺	百九十七世	示寂 入牌	默堂和尚諱彦智	受業 嗣法	梅山和尚 恕仲和尚	越前人事
一百九十八世默堂智和尚	嗣法喜山讚和尚 長祿三年己卯五月九日入寺	百九十八世	示寂 入牌	茂林和尚諱志繁	受業 嗣法	喜山和尚	越前人事
一百九十九世茂林繁和尚		百九十九世	示寂 入牌				

(三四裏)
二百世遠溪久和尚
嗣法清澗泉和尚
長祿三年己卯十月七日入寺

二百一世月巖桂和尚
嗣法珪峯金和尚
長祿三年己卯極月廿三日入寺

二百二世大仙廣和尚
嗣法大琳珎和尚
長祿四年庚辰二月十七日入寺

(三五裏)
二百三世大叔慶和尚
嗣法春谷葩和尚
長祿四年庚辰五月三日入寺

二百四世陰壑虎和尚
嗣法白峯和尚
長祿四年庚辰八月三日入寺

二百五世延齡松和尚
嗣法龍顏偉和尚
長祿四年庚辰十月三日入寺

(三五裏)
二百六世德巖楊和尚
嗣法海日照和尚
長祿四年庚辰極月廿一日入寺

二百七世宗海禪和尚
嗣法珂仲和尚
寬正二白孟夏七日入寺

二百八世天輪周和尚
嗣法蓮外和尚
寬正貳歲七月十四日入寺

(三六裏)
二百九世寧仲康和尚
嗣法大容和尚
寬正貳年辛巳八月十日入寺

二百十世舜叟孝和尚
嗣法大琳和尚
寬正貳年辛巳十二月廿四日入寺

二百十一世春屋芳和尚
嗣法運溪和尚
寬正三季壬午二月十三日入寺

(三六裏)
二百十二世瑞應祐和尚
嗣法朴堂和尚
寬正三稔壬午五月九日入寺

二百十三世中山圓和尚
嗣法雲澤和尚
寬正三年壬午八月九日入寺

二百十四世鷲山鵬和尚
嗣法日照和尚
寬正三年壬午霜月十三日入寺

貳百世
示寂
入牌
遠溪和尚諱榮久
受業
嗣法
清間和尚
肥州人事

二百一世
示寂
入牌
月岩和尚諱乾桂
受業
嗣法
大成和尚
能州人事

二百二世
示寂
入牌
大仙和尚諱麟廣
受業
嗣法
大琳和尚
豫州人事

二百三世
示寂
入牌
大叔和尚諱宗慶
受業
嗣法
春谷和尚
肥州人事

二百四世
示寂
入牌
陰壑和尚諱紹虎
受業
嗣法
白峯和尚
尾州人事

二百五世
示寂
入牌
延齡和尚諱乾松
受業
嗣法
大成和尚
越州人事

二百六世
示寂
入牌
德岩和尚諱章楊
受業
嗣法
海日和和尚
越中人事

二百七世
示寂
入牌
宗海和尚諱周禪
受業
嗣法
珂中和和尚
薩州人事

二百八世
示寂
入牌
天輪和尚諱
受業
嗣法
龍印和尚
下総人事

二百九世
示寂
入牌
寧仲和尚諱梵康
受業
嗣法
運外和尚
和州人事

二百十世
示寂
入牌
舜叟和尚諱秀孝
受業
嗣法
不藏和尚
越中人事

二百十一世
示寂
入牌
春屋和尚諱曇芳
受業
嗣法
大琳和尚
越前人事

二百十二世
示寂
入牌
瑞應和尚諱總祐
受業
嗣法
運溪和尚
越前人事

二百十三世
示寂
入牌
中山和尚諱興圓
受業
嗣法
芳菴和尚
越州人事

二百十四世
示寂
入牌
鷲山和尚諱祖鵬
受業
嗣法
朴堂和尚
能州人事











受業
嗣法
玉麟和尚
越前人事

『總持寺住山記』について

二百二十五世殿翁 <small>(113)</small> 金和尚 嗣法龍傳和尚 寛正四年癸未三月念日寺入	二百十五世殿翁 <small>(113)</small> 金和尚 入牌 受業 如仲和尚 嗣法 龍傳和尚	奥州人事
二百十六世月戸 <small>(114)</small> 香和尚 嗣法竺菴和尚 寛正四年癸未五月七日寺入	二百十六世 示寂 入牌 受業 實底和尚 嗣法 竺菴和尚	肥後人事
二百十七世寶山 <small>(115)</small> 珎和尚 嗣法竜傳金和尚	二百十七世 示寂 入牌 受業 龍傳金和尚 嗣法	賀州人事
二百十八世帶月泉和尚 嗣法叔芳和尚 寛正四年癸未八月六日入寺	二百十八世 示寂 入牌 受業 足室和尚 嗣法 叔芳和尚	隅州人事
二百十九世大素清 <small>(116)</small> 和尚 嗣法南天和和尚 寛正四年癸未十一月十日入寺	二百十九世 示寂 入牌 受業 明窓和尚 嗣法 南天和和尚	隅州人事
二百二十世性山見和尚 嗣法不琢和尚 寛正五年甲辰三月十二日寺入	二百二十世 示寂 入牌 受業 能照庵主 嗣法 不琢和尚	越州人事
二百廿一世月窓潭和尚 嗣法春屋和尚 寛正五年甲申五月一日入寺	二百廿一世 示寂 入牌 受業 大綱和尚 嗣法 春屋和尚	勢州人事
二百二十二世雲叟慶和尚 嗣法無聞和尚 寛正五年甲申八月七日寺入	二百廿二世 示寂 入牌 受業 無聞和尚 嗣法	隅州人事
二百二十三世天叟寅 <small>(117)</small> 和尚 嗣法雪窓和尚 寛正五年甲申霜月七日寺入	二百廿三世 示寂 入牌 受業 月同和尚 嗣法 雪窓和尚	江州人事
二百二十四世玉堂素光和尚 嗣法玉翁和尚 (朱)寛正六年	二百廿四世 示寂 入牌 受業 玉翁和尚 嗣法	越前人事
二百二十五世安叟楞和尚 嗣法春屋和尚 寛正六年乙酉五月一日入寺	二百廿五世 示寂 入牌 受業 大綱和尚 嗣法 春屋和尚	駿州人事
二百二十六世朴堂淳 <small>(118)</small> 和尚 嗣法竹室和尚 寛正六年乙酉八月三日寺入	二百廿六世 示寂 入牌 受業 可屋和尚 嗣法 竺堂和尚	越中人事

二代和尚百年忌早

注

- (1) 「山比丘」の上に朱の単廓方印、印文「」（陰刻）がある。
- (2) 「宗」の上に朱の単廓方印、印文横に「宗葩」（陰刻）、「葩」の上に朱の単廓方印、印文横に「春谷」（陽刻）がある。
- (3) (4) (5) 「山」「貝林」「了菴」はなぞっている。
- (6) (7) (8) 「玉麟」「大成」「傳芳受」はなぞっている。
- (9) (10) 「奇叟珍」「直傳」「應永廿六年三月十一日寺入」はなぞっている。
- (11) 「大林棟」はなぞっている。「棟」の上に朱の単廓方印、印文「大林」（陽刻）、「和尚」の上に朱の単廓方印、印文横に「禅棟」（陰刻）がある。
- (12) 「天香桂」はなぞっている。
- (13) 「大容清和」はなぞっている。「大容」の上に朱の単廓方印、印文横に「大容」（陽刻）、「清」の上に朱の単廓方印、印文横に「梵清」（陰刻）、「和」の上に朱の単廓方印、印文二行に「福」（陰刻）がある。
- (14) 「齋」の上に朱の単廓方印、印文横に「浩齋」（陽刻）、「養」の上に朱の単廓方印、印文横に「契養」（陰刻）がある。
- (15) 「通峰」の上に朱の重廓方印、印文横に「通峰」（陽刻）、「宗」の上に重廓方印、印文横に「真宗」（陽刻）がある。
- (16) 「輓仲」の上に朱の重廓円印、印文横に「輓中」（陽刻）、「柔和」の上に朱の重廓方印、印文横に「聖柔」（陽刻）がある。
- (17) 「真化」の上に朱の単廓方印、印文「真化」（陰刻）、「淳」の上に朱の単廓方印、印文横に「玄淳」（陽刻）がある。
- (18) 「勤」の上に朱の単廓方印、印文横に「守勤」（陰刻）、「和」の上に単廓方印、印文横に「」（不明陽刻）がある。
- (19) 「葩」の上に朱の単廓方印、印文横に「宗葩」（陰刻）、「和」の上に朱の単廓方印、印文横に「春谷」（陽刻）がある。

- (20) 「巖傑」の上に朱の単廓方印、印文横に「英巖」(陰刻)、「和尚」の上に重廓長方印、印文「章傑」(陽刻)がある。
- (21) 「翁」の上に朱の香炉型印、印文横に「中翁」(陽刻)、「和尚」の上に朱の単廓方印(内に円をもつ)、印文は円の中に横に「守邦」(陰刻)がある。
- (22) 「笑隱」の上に朱の単廓方印、印文横に「笑隱」(陰刻)、「闍」の上に朱の単廓方印、印文横に「紹闍」(陰刻)がある。
- (23) 「竺庭」の上に朱の単廓方印(内に円をもつ)、印文は円の中に横に「竺庭」(陽刻)、「僊」の上に朱の単廓方印、印文「慈仙」(陽刻)がある。
- (24) 「大輝」の上に朱の単廓方印、印文横に「大輝」(陰刻)、「曜」の上に朱の単廓方印、印文横に「堅曜」(陽刻)がある。
- (25) 「昌菴」の上に朱の単廓方印(内に円をもつ)、印文は円内に横に「昌菴」(陰刻)、「丰和」の上に朱の単廓方印、印文「攸丰」(陽刻)がある。
- (26) 「昭海」の上に朱の単廓方印、印文「昭海」(陰刻)、「周」の上に単廓方印、印文横に「千周」(陽刻)がある。
- (27) 「天澤」の上に朱の単廓方印、印文横に「天澤」(陰刻)、「徳和」の上に朱の単廓方印、印文横に「令徳」(陽刻)がある。
- (28) 「南天」の上に朱の重廓方印、印文横に「南天」(陽刻)、「和尚」の上に朱の単廓方印、印文「祖生」(陽刻)がある。
- (29) 「明林」の上に朱の重廓方印、印文横に「明林」(陽刻)、「哲和」の上に朱の重廓方印、印文「宗哲」(陽刻)がある。
- (30) 「實菴」の上に朱の単廓方印、印文横に「實菴」(陰刻)、「貞」の上に朱の単廓方印、印文横に「見貞」(陽刻)がある。

- (31) 「嚴和」の上に朱の香炉型印、印文横に「性嚴」(陽刻)がある。
- (32) 「利」の上に朱の単廓方印、印文横に「利仲」(陰刻)、「速」の上に朱の単廓方印、印文横に「長速」(陽刻)がある。
- (33) 「如蘭」の上に朱の単廓八角印、印文横に「如蘭」(陰刻)、「芳和」の上に朱の単廓方印、印文「麟芳」(陽刻)がある。
- (34) 「金峰」は後で書き改めたもので、その下に判読できないが、異った字がある。また「金峰」の上に朱の単廓方印、印文不明、多分「金峰」か。「玉和」の上に朱の単廓方印、印文横に「宗玉」(陽刻)がある。
- (35) 「義芳」の上に朱の単廓方印、印文横に「義芳」(陽刻)、「訓」の上に朱の単廓方印、印文横に「光訓」(陽刻)がある。
- (36) 「足室給」はなぞっている。また「足室」の上に朱の単廓方印が二箇あり、一つは印文横に「圓給」(陰刻)、他は印文不明。
- (37) 「弑嶽」の上に朱の重廓円印、印文横に「弑岳」(陽刻)、「殊」の上に朱の単廓方印、印文横に「宗殊」(陽刻)がある。
- (38) 「得岩」の上に朱の単廓方印、印文「得岩」(陽刻)がある。
- (39) 「盟堂」の上に朱の単廓方印、印文横に「盟堂」(陽刻)がある。
- (40) 「珪峰」の上に朱の単廓方印、印文横に「珪峰」(陽刻)、「金」の上に朱の単廓方印、印文横に「妙金」(陽刻)がある。
- (41) 「日照」の上に朱の重廓円印、印文横に「日照」(陽刻)、「光和」の上に朱の重廓方印、印文横に「韶光」(陽刻)がある。

- (42) 「南畝苗」はなぞっている。また「南畝」の上に朱の単廓方印、印文横に「南畝」(陽刻)、「畝苗」の上に単廓方印、印文横に「宗苗」(陽刻)がある。
- (43) 「竹岩巖」はなぞっている。また「岩巖和」の上に朱の単廓方印、印文不明がある。
- (44) 「傳翁」の上に朱の単廓方印、印文横に「傳翁」(陽刻)、「正和尚」の上に朱の単廓方印、印文二行に「傳翁智正」(陽刻)がある。
- (45) 「海岸」の上に朱の重廓方印、印文横に「海岸」(陽刻)、「超」の上に朱の重廓方印、印文横に「祖超」(陽刻)がある。
- (46) 「模菴」の上に朱の香炉型印、印文横に「模菴」(陽刻)、「範」の上に朱の単廓方印、印文横に「受範」(陰刻)がある。
- (47) 「大愚」の上に朱の単廓長方印、印文「大愚」(陽刻)、「才和」の上に朱の単廓長方印、印文「璟才」(陰刻)がある。
- (48) 「古科」の上に朱の単廓長方印、印文「古科」(陽刻)、「遵」の上に朱の単廓円印、印文横に「韶遵」(陽刻)がある。
- (49) 「悦堂」の上に朱の単廓円印(中に方形あり)、印文は方形の中に横に「悦堂」(陽刻)、「忻和」の上に朱の単廓方印(中に円をもつ)、印文は円の中に横に「令忻」(陽刻)がある。
- (50) 「宗峰」の上に朱の単廓長方印、印文「宗峰」(陽刻)、「和尚」の上に朱の単廓方印、印文不明がある。
- (51) 「松巖」の上に朱の重廓方印、印文横に「松巖」(陽刻)、「貞和」の上に朱の重廓長方印、印文「麟貞」(陽刻)がある。
- (52) 「雲岫」の上に朱の単廓長方印、印文「雲岫」(陽刻)、「山和」の上に無廓朱の印文横に「桂山」(陽刻)がある。
- (53) 「夢印」の上に朱の単廓方印、印文横に「夢印」(陽刻)がある。

- (54) 「世雪」の上に朱の香炉型印、印文横に「雪巖」(陽刻)、「巖」の上に朱の単廓方印、印文横に「侑松」(陽刻)がある。
- (55) 「天龍」の上に朱の単廓方印、印文「天龍」(陽刻)、「杲」の上に朱の香炉型印、印文横に「義杲」(陰刻)がある。
- (56) 「翁徹」「點」「文安参年寅丙」はなぞっている。
- (57) 「光山」の上に朱の単廓方印(中に円をもつ)、印文は円の中に横に「光山」(陽刻)と、単廓方印、印文横に「祥瑞」(陽刻)がある。
- (58) 「雲嶽」の上に朱の単廓方印(中に円をもつ)、印文は円の中に横に「雲嶽」(陰刻)、「慶」の上に朱の単廓方印、印文横に「至慶」(陽刻)がある。
- (59) 「大化」の上に朱の単廓方印、印文横に「大化」(陰刻)、「乾鵬」の上に朱の単廓方印、印文横に「乾鵬」(陽刻)がある。
- (60) 「妙祐」の上に朱の単廓長方印、印文「妙祐」(陽刻)がある。
- (61) 「大」の上に朱の単廓方印、印文横に「大怡」(陽刻)、「慶」の上に朱の単廓方印、印文横に「守慶」(陰刻)がある。
- (62) 「天麟」の上に朱の重廓方印、印文横に「天麟」(陰刻)、「祐和」の上に朱の単廓方印、印文横に「善祐」(陽刻)がある。
- (63) 「大樹」の上に朱の単廓方印、印文横に「大樹」(陽刻)、「棟」の上に朱の香炉型印、印文横に「祥棟」(陰刻)がある。
- (64) 「白隠」の上に朱の単廓方印、印文横に「白隠」(陰刻)、「知和」の上に朱の単廓方印、印文横に「全知」(陽刻)がある。

- (65) 「雲宙」の上に朱の単廓方印、印文横に「雲宙」(陽刻)、「龍」の上に香炉型印、印文横に「永龍」(陰刻)がある。
- (66) 「不琢」の上に朱の単廓方印、印文横に「不琢」(陽刻)、「珪和」の上に単廓方印、印文横に「玄珪」(陽刻)がある。
- (67) 「龍傳」の上に朱の単廓方印、印文横に「龍傳」(陽刻)、「金和尚」の上に朱の香炉型印、印文横に「慧金」(陽刻)がある。
- (68) 「本」は書き改めている。
- (69) 「仁叟」の上に朱の重廓方印、印文横に「仁叟」(陽刻)、「智和」の上に朱の重廓円印、印文横に「純智」(陽刻)がある。
- (70) 「月洲」の上に朱の単廓方印、印文横に「継中」(陽刻)、「中和尚」の上に朱の重廓円印、印文横に「月洲」(陰刻)がある。
- (71) 「大椿」の上に朱の単廓長方印、印文「大椿」(陽刻)、「廣和尚」の上に朱の単廓円印、印文横に「慶廣」(陽刻)がある。
- (72) 「物外」の上に朱の単廓方印、印文横に「物外」(陽刻)、「應和」の上に朱の単廓方印、印文横に「性應」(陽刻)がある。
- (73) 「中和」の上に朱の単廓方印、印文横に「中和」(陽刻)、「融和」の上に朱の単廓方印、印文横に「昌融」(陽刻)がある。
- (74) 「字溪出」はなぞっている。
- (75) 「松山喬」はなぞっている。
- (76) 「仁華」の上に朱の単廓方印、印文横に「仁華」(陽刻)、「訥」の上に朱の単廓方印、印文横に「智訥」(陽刻)がある。

る。

- (77) 「盛仲」の上に朱の単廓方印、印文「盛仲」(陽刻)、「訓」の上に朱の単廓方印、印文横に「玄訓」(陽刻)がある。
- (78) 「竺」の上に朱の香炉型印、印文横に「竺菴」(陽刻)、「仙」の上に朱の単廓方印、印文「中仙」(陰刻)がある。
- (79) 「一傳」の上に朱の単廓方印、印文不明(陽刻)がある。
- (80) 「怡雲」の上に朱の重廓長方印、印文「怡雲」、「欣和」の上に朱の重廓長方印、印文「如欣」(陽刻)がある。
- (81) 「世大」の上に朱の重廓円印(中に円が内接する四角がある)の内円に横に「大功」(陽刻)、「功忠」の上に朱の香炉型印、印文横に「圓忠」(陽刻)がある。
- (82) 「世禮」の上に朱の単廓方印、印文横に「禮中」(陽刻)、「中帛」の上に朱の単廓方印、印文横に「玄帛」(陰刻)がある。
- (83) 「明巖」の上に朱の単廓方印、印文横に「明巖」(陽刻)、「森聰」の上に朱の香炉型印、印文横に「森聰」(陽刻)がある。
- (84) 「親院」の上に朱の単廓方印(内接の円がある)、円の中に印文横に「親院」(陽刻)、「宗睦」の上に朱の重廓円印、印文「宗睦」(陽刻)がある。
- (85) 「九世」の上に朱の重廓円印、印文不明(陰刻)、「天聖仙和」の上に朱の重廓長方印、印文「人天聖仙」(陽刻)がある。
- (86) 「南窓」の上に朱の単廓方印、印文横に「南窓か」(不明)、「竒薰」の上に朱の単廓方印、印文横に「竒薰」(陽刻)がある。
- (87) 「延慶」の上に朱の単廓方印、印文横に「延慶」(陽刻)、「為祝」の上に朱の単廓方印、印文横に「為祝」(陰刻)がある。

- ある。
- (88) 「瑞岩和尚霜月六日入寺」はなぞってある。
- (89) 「大龍」の上に朱の単廓方印、印文横に「大龍」(陰刻)、「勢」の上に朱の単廓方印、印文横に「宗勢」(陽刻)がある。
- (90) 「茸菴」の上に朱の重廓円印、印文横に「茸菴」(陰刻)、「濃和」の上に朱の単廓長方印、印文「素濃」(陽刻)がある。
- (91) 「陽谷」の上に朱の単廓円印、印文横に「陽谷」(陰刻)、「春」の上に朱の単廓方印、印文横に「賢春」(陽刻)がある。
- (92) 「一菴」の上に朱の重廓円印、印文「一菴」(陰刻)、「清」の上に朱の単廓方印、印文横に「如清」(陽刻)がある。
- (93) 「世領」の上に朱の重廓円印、印文は「領山」(陽刻)、「純和」の上に朱の香炉型印、印文横に「良純」(陽刻)がある。
- (94) 「通」はなぞってある。
- (95) 「大瑞」の上に朱の単廓円印(内接する四角がある)、印文は四角の中に横に「大瑞」(陽刻)、「祐和」の上に朱の単廓方印、(内接する円がある)、印文は円の中に横に「良祐」(陽刻)がある。
- (96) 「雲山江和尚海慧和尚十二月廿六日入寺」はなぞっている。
- (97) 「天寧清」はなぞっている。
- (98) 「馨巖」の上に朱の香炉型印、印文横に「馨巖」(陽刻)、「徳和」の上に朱の重廓長方印、印文「周徳」(陽刻)がある。

- (99) 「海門」の上に朱の重廓方印、印文横に「海門」(陽刻)、「徳」の上に朱の重廓方印(内接する円がある)、印文は円の中に横に「興徳」(陽刻)がある。
- (100) 世代のみで和尚名を欠いている。
- (101) 「世南」の上に朱の重廓円印、印文横に「南叟」(陽刻)、「叟薰」の上に朱の重廓方印、印文横に「貞薰」(陰刻)がある。
- (102) 「大俊」の上に朱の香炉型印、印文横に「大俊」、「入和」の上に朱の重廓方印、印文横に「宗入」(陰刻)がある。
- (103) 「大養」の上に朱の香炉型印、印文横に「大養」(陽刻)、「亨」の上に朱の単廓方印、印文横に「淳亨」(陽刻)がある。
- (104) 「黙堂」の上に朱の香炉型印、印文横に「黙堂」(陽刻)、「智和」の上に朱の重廓方印、印文横に「彦智」(陰刻)がある。
- (105) 「茂林」の上に朱の香炉型印、印文横に「茂林」(陽刻)がある。
- (106) 「月巖」の上に朱の単廓方印、印文横に「月岩」(陰刻)、「桂」の上に朱の単廓方印、印文横に「乾桂」(陽刻)がある。
- (107) 「二百三」の上に朱の単廓長方印、印文不明(陽刻)、「大叔」の上に朱の単廓方印、印文横に「宗慶」(陽刻)、「和尚」の上に朱の香炉型印、印文横に「大叔」(陽刻)がある。
- (108) 「延齡」の上に朱の単廓方印、印文横に「延齡」(陰刻)、「松和」の上に朱の単廓方印、印文横に「乾松」(陽刻)がある。
- (109) 「宗海」の上に朱の単廓方印(内接する円がある)印文は円の中に横に「宗海」(陽刻)、「禅和」の上に朱の単廓方印、

- 印文横に「周禪」(陽刻)がある。
- (110) 「瑞應」の上に朱の単廓方印、印文横に「瑞應」(陽刻)、「祐和尚」の上に朱の重廓円印、印文横に「総祐」(陰刻)がある。
- (111) 「九日」はなぞってある。
- (112) 「山圓」の上に朱の重廓長方印、印文「興圓」(陽刻)がある。
- (113) 「翁金」の上に朱の単廓方印、印文横に「龍金」(陽刻)がある。
- (114) 「月戸」の上に朱の香炉型印、印文横に「聆香」(陽刻)がある。
- (115) 「寶」の上に朱の重廓方印、印文横に「寶山」(陽刻)、「山珍」の上に朱の単廓方印、印文二行に「釋□□□□」(陽刻)、「和尚」の上に朱の香炉型印、印文横に不明(正珍か?) (陽刻)がある。
- (116) 「大素」の上に朱の単廓長方印、印文「大素」(陽刻)、「清和」の上に朱の単廓方印、印文横に「常清」(陽刻)がある。
- (117) 「天叟」の上に朱の重廓円印、印文横に「天叟」(陰刻)、「寅和」の上に朱の重廓方印、印文横に「祖寅」(陽刻)がある。
- (118) 「二百二十四世」は新しく張りつけた紙に書かれている。
- (119) 「朴堂」の上に朱の香炉型印、印文横に「朴堂」(陽刻)、「淳和」の上に朱の重廓方印、印文横に「良淳」(陽刻)がある。